

# 34

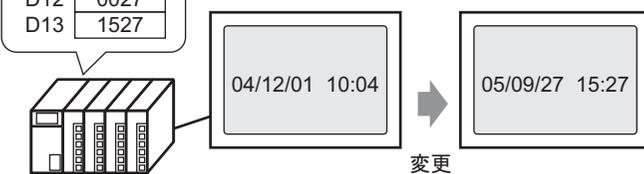
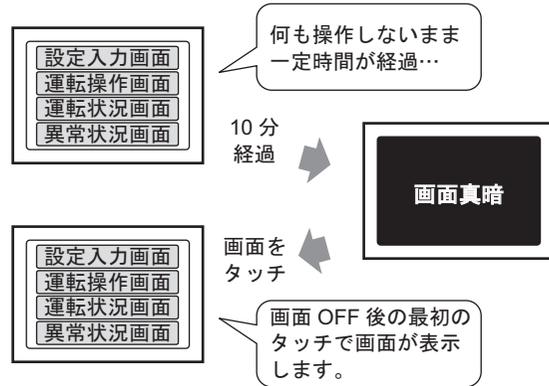
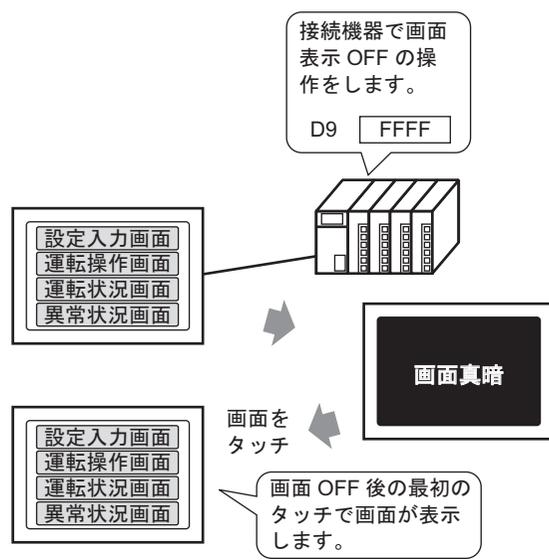
# 時刻調整・画面の 焼き付き防止

この章では、GP-Pro EX の「時刻調整・画面の焼き付き防止」についての基本的な説明と、時刻データの変更・画面表示を OFF するための基本操作について説明します。

まず「34.1 設定メニュー」(34-2 ページ)をお読みいただき、目的に合った説明ページへ読み進んでください。

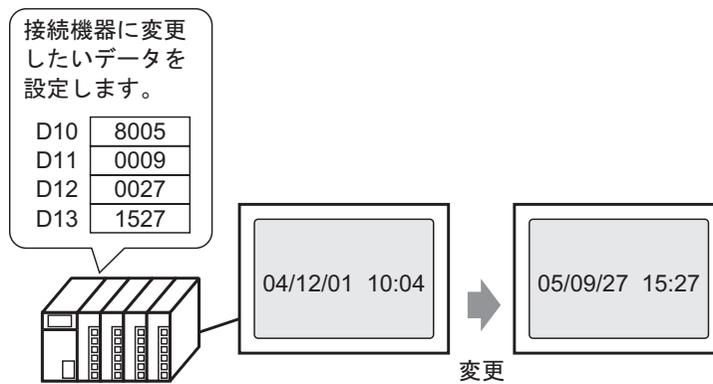
34.1	設定メニュー.....	34-2
34.2	時計を合わせたい.....	34-3
34.3	画面の焼き付きを防止したい.....	34-7
34.4	制限事項.....	34-11

## 34.1 設定メニュー

時計を合わせたい									
<p>接続機器に変更したいデータを設定します。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>D10</td><td>8005</td></tr> <tr><td>D11</td><td>0009</td></tr> <tr><td>D12</td><td>0027</td></tr> <tr><td>D13</td><td>1527</td></tr> </table> 	D10	8005	D11	0009	D12	0027	D13	1527	<p>☞ 設定手順 (34-4 ページ)</p> <p>☞ 詳細 (34-3 ページ)</p>
D10	8005								
D11	0009								
D12	0027								
D13	1527								
画面の焼き付きを防止したい									
 <p>ある一定時間画面操作などが無かった場合、自動で画面表示を OFF します。</p>	<p>☞ 設定手順 (34-7 ページ)</p>								
 <p>接続機器 (PLC など) から GP の画面表示を OFF します。</p>	<p>☞ 設定手順 (34-9 ページ)</p>								

## 34.2 時計を合わせたい

### 34.2.1 詳細



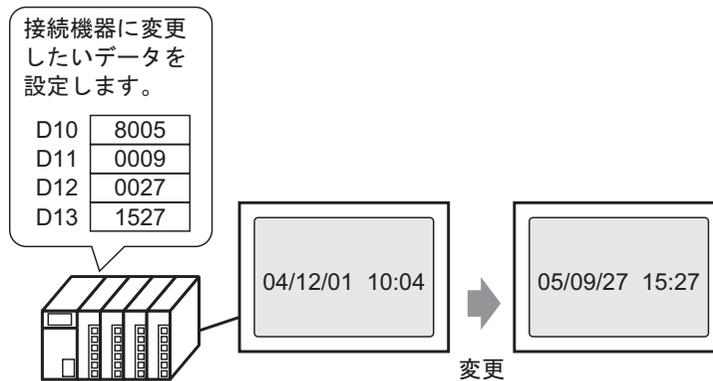
接続機器（PLC など）より GP 本体の時計データ (BCD) を修正します。

## 34.2.2 設定手順

**MEMO**

- 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

☞ 「5.15.6 [システム設定ウィンドウ] の設定ガイド システムエリア設定 (5-147 ページ)



1 [システム設定ウィンドウ] タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。

**MEMO**

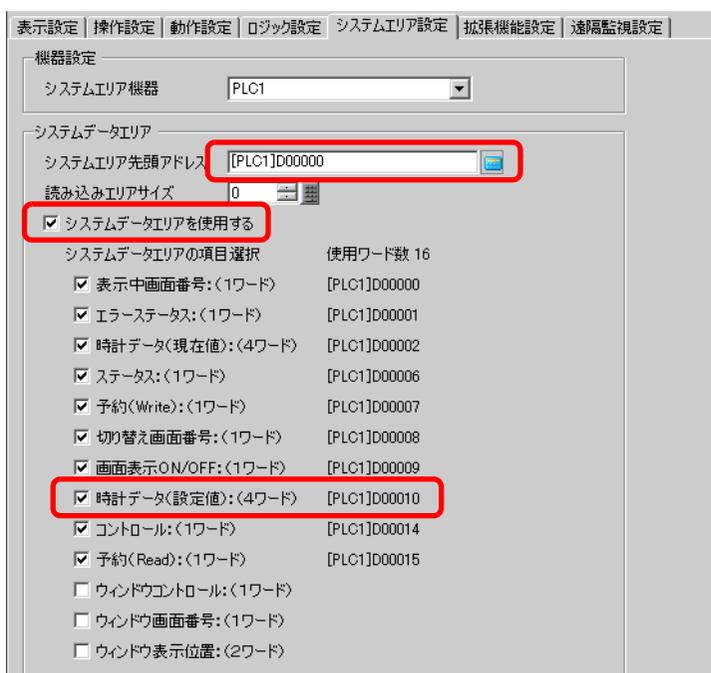
- ワークスペースに [システム設定ウィンドウ] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[システム設定ウィンドウ (S)] を選択します。

2 [表示器設定] から [本体設定] を選択します。

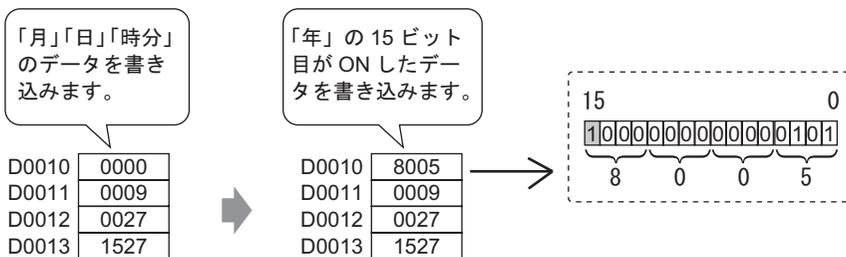


3 [システムエリア設定] タブを選択して [システムエリア先頭アドレス] を設定し、[システムデータエリアを使用する] にチェックを入れます。

[時計データ(設定値):(4ワード)] にチェックが入っていることを確認します。



4 [時計データ(設定値):(4ワード)]に表示されているアドレス(例:D0010~D0013)に、変更したい時計データ(例:05年9月27日15時27分)をBCDで書き込みます。時計データはデータの書き換えフラグ(例:D0010の15ビット目)が変化(OFF→ONまたはON→OFF)すると書き換えられます。データを書き込む手順は以下の手順で行います。



**MEMO**

- 15ビット目がONしている場合は、15ビット目をOFFするデータを書き込むと、時刻が更新されます。
- 「秒」のデータ変更はできません。時計データを書き換えたときに「0」にリセットされます。

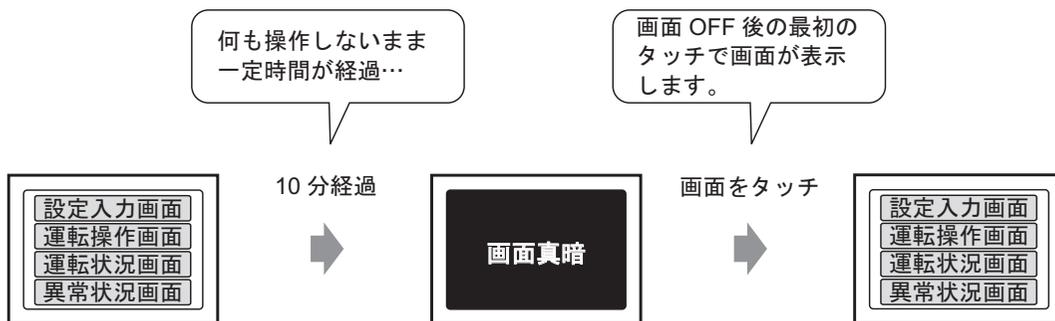
## 34.3 画面の焼き付きを防止したい

### 34.3.1 一定時間経過すると画面表示を OFF する場合の設定手順

**MEMO**

- 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

☞ 「5.15.6 [システム設定ウィンドウ] の設定ガイド 表示設定」(5-124 ページ)



ある一定時間画面操作などが無かった場合、自動で画面表示を OFF します。

- [システム設定ウィンドウ] タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。


**MEMO**

- ワークスペースに [システム設定ウィンドウ] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[システム設定ウィンドウ (S)] を選択します。

2 [表示器設定] から [本体設定] を選択します。



3 [表示設定] タブの [画面設定] で [スタンバイモード設定] を指定します。(例：画面 OFF)



4 [スタンバイモード時間] に設定時間を指定します。(例：10)



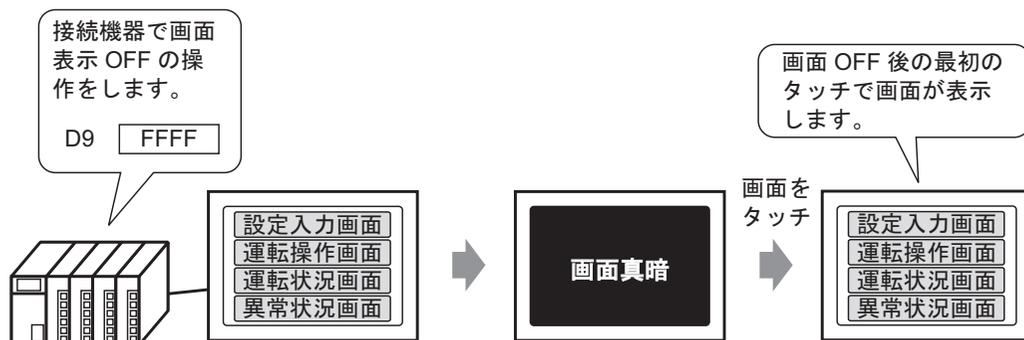
**MEMO**

- [スタンバイモード時間] で設定した時間内に、画面操作やアラーム発生 (流れ表示) などがなかった場合、画面表示が OFF します。再度画面を表示させるには、表示 OFF している画面を 1 回だけタッチします。

### 34.3.2 接続機器 (PLC など) から画面表示を OFF する場合の設定手順

**MEMO**

- 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。  
 ⑤ 「5.15.6 [システム設定ウィンドウ] の設定ガイド システムエリア設定 (5-147 ページ)



接続機器 (PLC など) から GP の画面表示を OFF します。

- [システム設定ウィンドウ] タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。



**MEMO**

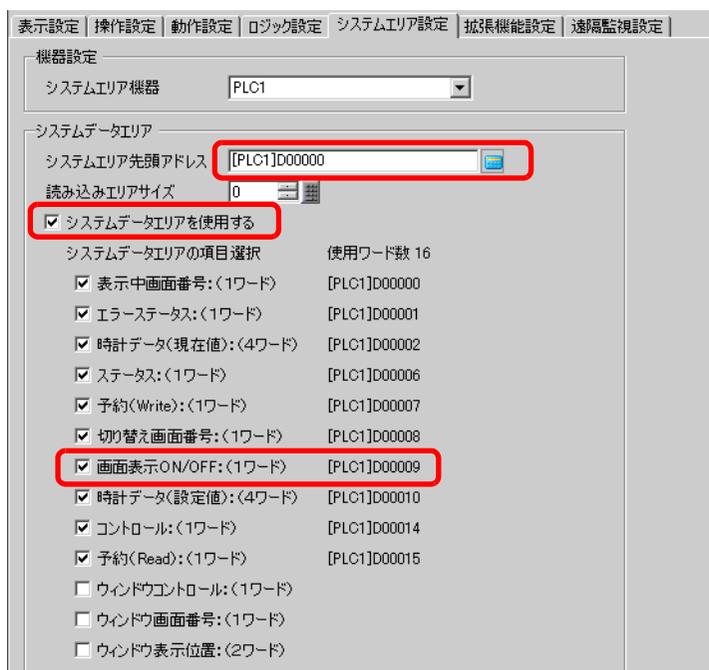
- ワークスペースに [システム設定ウィンドウ] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[システム設定ウィンドウ (S)] を選択します。

2 [表示器設定] から [本体設定] を選択します。



3 [システムエリア設定] タブを選択して [システムエリア先頭アドレス] を設定し、[システムデータエリアを使用する] にチェックを入れます。

[画面表示 ON/OFF : (1 ワード)] にチェックが入っていることを確認します。



4 [画面表示 ON/OFF : (1 ワード)] に表示されているアドレス (例 : D0009) に、「FFFFh」を書き込むと GP の画面表示を OFF します。

**MEMO**

- 画面表示が OFF している画面を再度表示させるには、画面を 1 回だけタッチします。

## 34.4 制限事項

### 34.4.1 時計を合わせる際の制限事項

- 時計データはデータの書き換え用フラグが変化 (OFF → ON または ON → OFF) すると書き換えられます。「秒」のデータ変更はできません。時計データを書き換えたときに「0」にリセットされます。

例) 05 年 10 月 16 日 21 時 57 分

[ 時計データ (設定値) ] アドレスの現在のデータが 0000 とします。

以下のアドレスに「月」「日」「時分」を書き込みます。

- [ 時計データ (設定値) ]+1 に 0010
- [ 時計データ (設定値) ]+2 に 0016
- [ 時計データ (設定値) ]+3 に 2157

[ 時計データ (設定値) ] のアドレスに、「年」の 15 ビット目を ON したデータ (8005) を書き込むと、時計データは書き換えられます。

- 時計データの [ データ形式 ] は BCD で設定されます。
- メモリリンク方式を使用して、時計データを設定する場合はアドレスは 0004 ~ 0008 の 5 つを使用し、それぞれ (年、月、日、時、分) のデータを直接格納します。

### 34.4.2 画面を OFF する際の制限事項

- [ スタンバイモード時間 ] を設定した場合、[ 画面表示 ON/OFF ] アドレスのデータが「0000h」で、設定時間以上、次のいずれかの動作がない状態の場合に表示が消えます。
  1. タッチまたは接続機器で画面切替えをする。
  2. 画面をタッチ操作する。
  3. アラームメッセージ (流れ表示) を表示する。
  4. エラーメッセージを表示する。
- スタンバイモード時間は「1 ~ 255」の範囲で設定します。
- 画面表示 OFF 後の 1 回目のタッチ入力画面表示 ON としての動作となります。
- 接続機器 (PLC など) から画面表示を OFF する場合、[ 画面表示 ON/OFF ] に設定したアドレスに格納される値が「FFFFh」ならば画面表示が消えます。「0h」の時は画面表示します。「FFFFh」、「0h」以外は予約となります。

